

「鶴川団地と周辺地区における「多世代が一緒に住めるまち」の実現に向けた連携協力に関する覚書」を町田市と交換しました

UR都市機構は、町田市と「鶴川団地と周辺地区における「多世代が一緒に住めるまち」の実現に向けた連携協力に関する覚書」を2016年11月30日に交換しました。この覚書は、町田市の「町田市鶴川団地と周辺地区再生方針」に掲げるまちづくりの目標「多世代が一緒に住めるまち」、UR都市機構の地域医療福祉拠点化の目的である「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち(ミクストコミュニティ)」を実現するため、町田市とUR都市機構が相互に連携協力して以下の4項目に取り組むことを確認したものです。

- ・安心して子育てができるまちづくりの推進
- ・鶴川団地と周辺地区全体での魅力づくりの推進
- ・高齢者が楽しく暮らせるまちづくりの推進
- ・以上の取組みを通じた地域医療福祉拠点化によるミクストコミュニティの実現

この覚書の交換を受け、UR都市機構では鶴川団地の地域医療福祉拠点化に着手しました。今後は、住民や地域関係者の協力を得ながら、町田市とUR都市機構が相互に連携協力して具体的な取組み内容についての協議を進めてまいります。

UR都市機構の地域医療福祉拠点化に関するホームページ

<http://www.ur-net.go.jp/kourei-net/kyoten/>

参考：町田市ホームページ

https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/sumai/house/danchisaisei/shokai/t-surukawa_oboegaki.html

【お問合せ先】

UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

ストック事業推進部 スtock再編事業第3チーム 担当 和田 大泉

(電話) 03-5323-2242